

①【様式2】各経営課題(1～6)において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

経営課題1【自助・共助を担う地域力の向上】

自助・共助を基本とした地域課題の解決に向けて取り組むために、豊かなコミュニティが醸成され、多様な団体と行政が連携・協働できるまちづくりを行う。

4. 思う

- ・学校協議会等により地域コミュニティとの連携が出来ている。
- ・地域活動協議会と行政が連携し、地域づくりや情報の発信ができています。
- ・各種団体と地域行政の連絡・共通認識の強化があればもっと向上すると思う。
- ・地活、他団体との連携・協働は進めていると思うが、地域住民に対するの参加支援、広報をすすめていただきたい。

3. やや思う

- ・私の住む地域には近年マンションが乱立し、たくさんの人々が入って来ている。自助・共助の基本となる地域コミュニティがどんどん取りにくくなっている現状を把握して取り組む。
- ・17 地域で地活協・連合・社協と統一的に有している(共有・共合・協力)地域が少なく、地活協を中心としたこころみがむずかし現状が多くある様です。事業的要因だけでなく、側面的支援要因ももう一步進めてみてはと感じる。
- ・豊かなコミュニティを作るため、小学校区から、より身近な「自治会・町内会」への支援をもっと強める取組が必要。
- ・それぞれの地域の活動には、その地域の特色をいかした活動がありますが、それらの情報が横への伝わりがない。即ち広域の連携がない。
- ・各部会で方向性が具体化されてきているので、少しずつ連携も深まりつつあると感じる。
- ・地域によって温度差のある課題かと思えます。また、地域活動協議会の事業のほとんどが一から作られたものではないので難しい所があると思えます。しかし、意識をもってしっかり取り組むべきところと思えます。
- ・まず地域内でもっと真剣に地域の問題等を討議する場を増やさないと前へ進まない。
- ・各地域での課題の解決のためには、新たな参加者や担い手が必要で、それらが増えたと感じられる地域が増えているため。
- ・地域活動協議会の活動が定着・安定してきている。区役所職員との連携もスムーズにできている。
- ・以前より、各団体、区役所との連携の催しが少なくなったと思えます。
- ・一定の取り組みは感じるが始まったばかりで、まだ課題が多く、順調ではない。有効な結果を出すための多様な取り組みが出来ていない。人材も不足している。
- ・地活協としては、「社会を明るくする運動」で中学校下3地域合同で区の協力を得て開催することができました。生涯学習連絡会は、今年度区と共催でフェスティバルを開催する予定です。
- ・様々な集会やイベントで地域と接して意見集約する活動が各エリアで進められている一方で、活動報告や把握した課題に対するの抜本的・現実的解決策の発信がない、弱い印象がある。

2. あまり思わない

- ・未だに自助→公助となり共助が欠落している町会長等多数存在している。共助の内容をもっと強調すべき。
- ・地域のリーダーをどのように育てるか。
- ・まだまだ区役所と一人一人の区民が自助・共助の大切さが理解できていないので。
- ・行政や各専門団体、機関等での連携・協働は進んでいるように感じているが、区民・住民の意識は自助・共助を基本にしたコミュニティ形成について認識が進んでいるようにはあまり感じられない。
- ・新たな担い手を魅力発掘支援等の戦略(戦術)は取り組みとして評価するも、まだ、効果が出ているとは感じられない状況であるため。
- ・行政と地域の連携・協働を感じることはあるが、多様な団体との連携・協働は決まった団体しか思い浮かびません。
- ・より良い企画をつくるため、時間をたっぷり使って話し合うべき。

経営課題2【みんなで取り組む福祉と健康】

地域に関わる全ての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、地域での地域コミュニティが確立され、乳児から高齢者、障がい者等誰もが地域で安全・安心に暮らせるまちづくりをめざす。

4. 思う

- ・今後 20 年～30 年先を見ると不安な要素(課題)のある部分だと感じます。現事業の在り方は良く成されていると思いますが、福祉実務者支援(支援の仕方等)強化が必要と思います。尚、区政委員が専門的な方々で構成されているので、民意と共有意見が深くなされていると思います。
- ・高齢化社会の中、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、保健福祉計画に基づいて共に生き共に支えあうために、地域コミュニティを確立する仕組みが盛り込まれていると感じたから。
- ・生活自立相談支援事業(くらしのみり相談窓口)の本格実施。
- ・独居高齢者が多い東淀川区の課題に向き合い、高齢者について様々な取り組みがされている。現役世代への働きかけ(健診数や健康意識が向上できるように)が必要。
- ・行政や医療従事者を中心として、各団体をまきこんだ連携、協働の体勢は進んでいるように思う。地域住民がおきざりにならないような配慮を今後も続ける必要があると思う。
- ・地域コミュニティの場として「いきいき百歳体操」等の活用で横縦のつながりを強化し、共助の体制が出来る様なまちづくりをめざしたい。
- ・独居・高齢者・子育て等、個人情報観点からも地域全体で働きかけることは難しいので、長期継続することがつながりつつあると思う。

3. やや思う

- ・身近なコミュニティの存在として地活協があるが、まずまだその存在自体が周知されていない。このコミュニティの中心となる地活協をどう知らせて行くのが重要である。
- ・小さい単位では家庭での家族による支えあい。町会単位では住民同士の助けあい。町会活動への誘いや安否

確認。行政単位ではプライバシー保護より人命優先の立場で情報公開を積極的に行うことが重要である。

- ・世代にもれがない政策が考えられるようになり、手薄な部分が明確になってきている。障がい者にもしっかりと目を向けようとしているところは評価できる。
- ・(要支援の)赤信号になる前の黄支援の段階でキャッチしてあげるための手段(良いアイデア)がいるのでは。
- ・医療介護連携、百歳体操の充実(40か所)等、地域コミュニティ進展が感じられます。
- ・複合課題世帯への支援、生活困窮者の自立支援について、区での会議などの取り組みで体制整備がされ、効果もあったと感じる。
- ・一定の取り組みは感じるが始まったばかりで、まだ課題が多く、順調ではない。有効な結果を出すための多様な取り組みが出来ていない。人材も不足している。
- ・広報が課題。

2. あまり思わない

- ・高齢化が進んでいる中で、高齢者への支援は進んでいるようだが、若年者の障がい者(児)のいる家庭への支援がどのようになっているのか見えてこない。
- ・時と場合にもよりますが、区役所と民間業者には理想と現実のギャップがありすぎる。
- ・先日の地震の際、企業としてどう対応すべきか？大変悩みました。BCPの取り組みを広く知って頂くための工業協会等との協働が出来るとすばらしいと思います。
- ・区民や各地域の頑張る姿や声は個別に見聞するが、区政としての経営課題解決進捗が十分かつ継続的に発信・周知されているかについては難しい印象がある。

1. 思わない

- ・地域に関わる全ての人々が力を合わせるための土壌となっているとは感じられない。個人的に、自治会への入会を拒否されたこともあり、閉鎖的な風習がある地域と思う。

経営課題3【こども・青少年・子育て家庭の環境充実に向けて】

地域の人のつながりの中での切れ目のない子育て・子育てを支援し、学校を核とした教育環境の改善・充実を進める。子育て家庭を支えるだけでなく、地域ぐるみでこどもたちを守る。すべてのこどもが基礎学力や体力、基本的な生活習慣(こころ・からだ・学力)を育み、健康で心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力を身につける環境を構築する。

4. 思う

- ・経営課題3については、3-1の事業から3-5の事業まで17項目で事業が実施されており、0歳児から中学生(高校生)まで幅広い層で年間でもかなり多くの課題と向き合う事と思います。一言では言えませんが、今後、区政会議含め、学校教育団体協議に幹事中学校の教職員の参加が出来れば。
- ・切れ目のない子育て支援をめざし、話し合いが深く進んでいるように感じる。手薄と感じるところもあるが(多様な保育ニーズへの対応)、細かい部分へも目が向けられていると思う。
- ・こんにちは赤ちゃん訪問から子育てサロンに繋ぎ、各地域で地域の活動にスムーズな流れができ始めていると

感じるが増えていると思う。若いお母さんたちが地域の方との顔見知りが増え、安心して地域活動に参加している。切れ目のない子育ての成果を感じるから。このことが当たり前となり、わざわざ居場所を作らなくても、地域のどこにでも居場所(人と人とのつながりができ)ができ、子どもたちが安心して暮らすことで、自尊心を高く持てるようになればと思う。

- ・地域子育て支援拠点事業(ひろば型)の整備が進んでいる。
- ・地域あげて、子育ての意識が増加してきていると思います。
- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業、件数も増え、内容も良いという声が増えている。居場所づくりは8地域で行っており、使用者も増えている。今後は内容の充実に学習支援をひろげていく必要あり。学校と協力し、自尊心の向上を図る取り組みが良い。
- ・充実していると思います。
- ・地域ごとに問題は違うと思うので、実態や現状について、区役所→関係団体・行政・学校→地域へのアプローチや説明が重要と思う。

3. やや思う

- ・少子高齢化の時代において、子供達の存在はさらに重要なものになってくるだろう。これからは地域全体での見守りがさらに重要になってくるだろう。
- ・少子高齢化の現在、子どもがいかに国の繁栄をもたらすかは明白である。子どもの成長に地域の役割は大きいように思える。ある県では老人と子ども達をつなぐ NPO が存在し、うまく機能している。こうゆう県を参考にしていけば子どもと老人の問題も少しは解決するのでは。
- ・全体的にすべての事業・支援自体はよい方向に発展・充実しているように思いますが、地域による差があるので、東淀川区全体として、もっと充実させていくためには、どうすべきかなと思います。
- ・特に登園・登校のサポートは、地域ぐるみの支援活動になればいい。気軽に子育てサロンへ行ける様、地域づくりが大事。
- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業や中学生勉強会、こどもの居場所づくりなどの活動が広がってきているので。
- ・各地域で登下校の見守りが実施され、活発にあいさつが交わされている。高齢者と子どもの交流ができています。
- ・「こども 110 番」の意味ってこどもは知っているのでしょうか？
- ・一定の取り組みは感じるが始まったばかりで、まだ課題が多く、順調ではない。有効な結果を出すための多様な取り組みが出来ていない。人材も不足している。
- ・「子どもの居場所づくり」について、少しずつ広がっていると思います。
- ・子育て支援に関しては評価できるが、保育の問題はマスコミでとりあげられているせいか評価できない。

2. あまり思わない

- ・PTA のあり方や地域委員の向上を。
- ・子育て支援地域ぐるみで子どもたちの見守りをしているが、学校と地域の連携があまりできていないように思う。
- ・地域に関わる全ての人が力を合わせるための土壌となっているとは感じられない。個人的に、自治会への入会を拒否されたこともあり、閉鎖的な風習がある地域と思う。

1. 思わない

- ・目指すべき将来像としては日本中、世界中が目指すところであるが、現実的な分かりやすいマイルストーンが報告・発信されていけばもっと印象は変わったと思う。

経営課題4【安全・安心のまちづくり】

災害に強く犯罪が少ない、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、地域住民が自主的・主体的に防災・減災活動、防犯・交通安全活動に参加し、多様な主体の連携・協働により進めていく。

4. 思う

- ・年間を通してかなりの実務が成されていると思います。今般の災害(地震・豪雨)を受けて、かなり課題を感じさせられました。今後の向う防災・減災の在り方をもっと考える必要があると思います。(4-1事業)
- ・地域住民の参加が安全で安心なまちづくりが生まれる。
- ・近年災害が多く、住民の不安が増している中、自主的・主体的に防災・減災、防犯・交通安全活動がしやすいように、展開されているから。しかし、次々起こる災害に少し追い付かない部分もあり、スピードが必要かと思う。区政会議委員全体でもしっかりと考えていくべき課題かと思う。
- ・区民の防災・減災に関する知識の普及のための広報啓発の取組み。
- ・地域で青ハト・見守隊が増加している。
- ・基本評価できるが、放置自転車、駐輪対策にもっと有効な手段がないものか。
- ・青ハトや登下校見守りなど区内各所で目にしているため。

3. やや思う

- ・女性被害犯罪・子ども被害が市内ワーストワンから目標に「3年以内のワーストワンをめざし」とあるが、共助や公助のできる事を示し、スピード感ある方針を示すこと。
- ・やや思うが、更なる取組が必要(防災)。防犯・交通安全については、従前からの取組を継続することで、安全が維持されていると思う。防災については、先日の地震・豪雨により、様々な課題が出てきた。更に自助の理解を住民に求め、意識の向上と具体的な行動ができるように取り組む必要がある。防災組織については、従前のルール・マニュアルを見直し、より実効性のある体制を構築しなければならない。
- ・6月18日大阪北部地震の経験から反省と課題を考えてみえて来た事は、事前に防災訓練を繰り返しても本番では訓練のようにはいかないと分かり、それぞれ個々の人、エンパワメントの必要が大で、それを引き出すように行政が指導するようになりたい。
- ・青ハトや防災訓練、防犯カメラの設置など安心して暮らせるまちづくりが進んでると思いますが、先日の地震時、区内での正月校の対応が違い、登校させたものの不安になりました。
- ・女性被害犯罪や自転車カゴの中身を取られる等の犯罪はなかなか減らず、内容の検討が必要なのでは？西部地域まちづくりは住民の意見を聞きながら進められている。災害の話し合いが何度もされていて有意義だと思います。
- ・防犯カメラの増設等、安全安心への方向に取り組みがなされつつある。防災に関しては、より具体的な話し合いの場があると思う。
- ・若年層への防災訓練で学校・地域との連携が進んでいると思う。
- ・もっと普段から災害を想定した案を考えているか。災害が起こる時間も想定して考えてほしい。
- ・災害時、一部の人ではなく、地域全体に進められるような訓練の取り組みがもっと必要と感じた。
- ・災害時に動く為には平時からの取り組みが必要だと思います。(町会単位)
- ・一定の取り組みは感じるが始まったばかりで、まだ課題が多く、順調ではない。有効な結果を出すための多様な

取り組みが出来ていない。人材も不足している。

2. あまり思わない

- ・6月18日、主な地域リーダーがとった初期行動を調べてみると自助レベルから前に進んでいない。
- ・防災に関しては、前日の地震及び大雨の際の避難所開設の広報方法が SNS に偏っているように感じた。例えば、地域のもつ青パトを利用して広報してみてもどうか。
- ・課題はわかりますが、なかなかそこまではいっていません。
- ・まだみんなに周知するに至っていないように感じる。地震や台風の時の避難所開設の時に強く感じました。もっと体力もあり動ける世代を実行部隊としてまきこむ方がいいのでは。
- ・地震発生時、地域の自主活動ができていなかった様に思われる。また、訓練等していないため、何をすれば良いかわからなかった様だ。
- ・地域に関わる全ての人が力を合わせるための土壌となっているとは感じられない。個人的に、自治会への入会を拒否されたこともあり、閉鎖的な風習がある地域と思う。
- ・地活協と町会との協力がもっと必要。まだどちらも一般区民に周知されていない。

経営課題5【地域特性に応じた区政運営と広聴広報機能の強化】

区民の意見やニーズを的確に把握し、地域特性に応じた区民協働型の区政運営の実現をめざすとともに、情報発信力を強化し必要とする情報を望む時に容易に区民に届けられる状態をめざす。

4. 思う

- ・東淀川区の区政会議そのものに、区民の意見を反映しようとしてくださっている区の姿勢を感じます。多くの方がこの場を経験していくこと、そして、地域にフィードバックしていくことで、より良い区政運営が実現すると思うから。情報発信の強化を広報誌に感じる。
- ・PDCA サイクルの徹底による区政運営の実現。
- ・区政会議が活発に行われている。
- ・区民にあまり浸透していない部分もあるので、きめ細やかな情報発信をお願いします。
- ・広報されていても興味がなければ見ないので、発信力の強化をもっとがんばって下さい。

3. やや思う

- ・区政会議については(5-2-1)本会の際、19:00~20:00 の一時間、区政委員全員の会議にあてては、と思います。今般の災害や各部会での統一の課題あるいは2部会・3部会の共通課題等。
- ・区民へ情報を伝えるには、正確さと迅速さが要求されます。それには SNS を利用するのが最適で、現在使用のホームページを活用する方法があり、そのホームページで区民のクレームや各組織の FB にリンクできるように整理する必要があるのでは。
- ・情報がしっかりされているものとそうでないものがあると感じます。
- ・もっともっと東淀川の特長とかを考え、キャラクターとか、区民の心がひとつになるものがほしい。
- ・区役所が様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合が増えている。

- ・もっと安全とか教育環境の充実している所をアピールしてほしい。
- ・広報紙の記事内容に工夫がみられるようになった。
- ・努力されていることを評価したい。
- ・地域特性の良いところを情報発信にのせるために町会行事等、積極的にアピール。
- ・フェイスブック等での発信をよく見かけるようになりました。また、先日の地震の際には情報が正しいものか不明なものが多い中、大変参考になりました。号外 NET は今、東淀川区では一番の情報源になっていると思います。連携をご検討ください。
- ・一定の取り組みは感じるが始まったばかりで、まだ課題が多く、順調ではない。有効な結果を出すための多様な取り組みが出来ていない。人材も不足している。
- ・コミュニティ回収についての情報を頂き、回収に向けて動き出しています。
- ・自分で感じる部分は少ないが、実行している報告が多い。
- ・Facebookや区民だよりの改訂や投稿数・分野の拡充などが行われた一方で、各事業の目的・ねらいと進捗報告が未だに分かりにくく弱い印象がある。

2. あまり思わない

- ・今後区長権限をさらに増大させるならば区民の意見を取り入れる方法がさらに重要になってくる。例えば、区政会議の意見を窓口にして、より多くの区民等の意見を取り入れる方法を考えるべき。
- ・一部の人のみ。
- ・情報発信時の方法・期限など知らずに依頼した時には間に合わなかった。
- ・各会長・役員には情報は伝わっているが、区民にはどうかと思います。

経営課題6【区役所力の強化】

区役所が地域の要として、常に効果的で効率的な業務運営を行い、良質な住民サービスの提供に取り組むとともに、公正で区民から信頼され不適切な事務処理のない風通しの良い職場づくり・職員づくりを行う。

4. 思う

- ・区政会議等で職員の方々が一生懸命やっておられるのを見て、業務でも同じようになしておられると察している。
- ・役所内の壁に掲示されている職員の方々のアンケートなど、職員の方々の「お人柄」を感じ、窓口の方と接するのに親近感がわくと思う。役所内の案内板などが分かりやすくなっている。職員の方々の良くしようという意識を高く感じる。
- ・窓口サービスの向上
- ・赤ちゃんから高齢者まで地域で安全に安心して過ごせるように地域や行政が協力して、課題解決のために取り組んでいると思う。地道な取り組みですぐに成果がでる訳ではないけれど、色んな意見を聞きながら、今後もまちづくりを進めて頂ければと考えます。
- ・区長は東淀川区に住んでいるの？住めばもっと良くなるかも。
- ・何年か前からは電話対応や窓口対応が話しやすく、聞きやすくなった。

- ・区民の声は多く取り入れて届けていただいている。
- ・私は窓口サービスも職員の方々の評価も高いです。今のままでいいと思っています。

3. やや思う

- ・区役所職員の地域担当の方々の仕事や人数を少しずつでも増やして、役所と地域やその人々との直接のつながりをさらに大事にするべきだと考える。
- ・課題6ですが、非常に答えにくいです。区役所業務(窓口やコンプライアンス等)職員でない区民が答えにくく、又、専門的知識がうすい中で解答しにくい。区の情報を地域や区民に伝わりやすい様には、とは思う。
- ・区役所力とはやはり情報を公開し、全てを区民にさらし、区民の評価を受ける。即ち区民からのクレームを直接受け、それを考察し発展させる意見でもホームページの活用が必要であるのでは。
- ・地域の会にも積極的に参加されていると感じる。
- ・数年前よりは区役所のサービスもよくなり、身近に感じられるようになったと思う。
- ・区役所外でのサービス提供件数が増え、区役所での待ち時間緩和に繋がっている。
- ・民間企業に移譲された時より、最近はスムーズに対応されていると思います。今後も区民の立場にたった対応をしてほしい。
- ・努力されていることを評価したい。
- ・がんばってください。
- ・まだ一方的な見方での対応をされているように感じる。公正感相手の立場や気持ちを理解しようとする姿勢をもっと見せてほしい。
- ・取り組まれていると思う。まだまだ課題が多い。
- ・区政会議やまちづくりに熱心かつ真摯に関わる多くの区役所職員さんを知っている一方で、部局(担当・係)間連携が活発でフレンドリーな印象は薄く、地域接点が弱い部局や個人もありそうで、対応部門が分からずにリクエストを断念する区民も居られる印象がある。

2. あまり思わない

- ・なればうれしいですが、出来ないでしょう。まだトップダウンですから。

② 東淀川区の経営課題(1～6)は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくり・平成28年度に策定した東淀川区地域保健福祉計画の理念のもと、地域コミュニティの中で人と人とのつながりを深め、地域力の向上をめざすとともに、だれもが地域で安心して自分らしく健康で心豊かにいきいきと暮らし、人権が尊重され、災害に強く安全かつ安心して、子育てしやすくずっと住み続けられる、快適で活力とにぎわいのあるまちづくりを進めていく。そのために、区民に役立つ区役所づくりを常に心がけ、良好な区民サービスの提供に努めるよう、職員全員が力をあわせて全力で取り組む。

4. 思う

- ・過去成された経過が有り、今に至っているのであれば現在実施されている事業は有効で有ると思います。災害に強く、人口密度に対し犯罪のない子どもから高齢者まで生活出来る様なまちづくり。
- ・全ての経営課題は有効であったと思います。しっかりと実現していくことで、間違いなく人と人とのつながりは深ま

っていくものと思います。一人でも多くの方々が顔見知りになり絆を深めて頂けるように、地域住民と職員のみならずとが共に課題解決に向けて話し合い続けることが大切だと思います。よろしくお願ひします。

- ・各地域の皆様の協力があつた為。
- ・保健福祉担当の区職員の方のご尽力もあり、つながる場の会議等、よりよい地域づくりに一歩前進できていると感じます。
- ・もっと良い面を全面的に押し出して災害に強い東淀川区、安心のまち東淀川区をアピールしよう。
- ・区役所職員の方達の取り組みにはいつも助けられています。今後も東淀川区のまちづくりの為に区民の意見に耳を傾けながら行政機関以外の団体との連携を継続して。
- ・すぐ実現出来るサービス、中期・長期で実現可能なサービスを区民に見える可視化が必要であるとともに、区民が身近に感じる事の出来る行政をめざしてほしいと思います。
- ・目標に向かって努力されていると思います。
- ・広報のやりかた、わかりやすさ、情報発信がすすめばいいのでは。

3. やや思う

- ・やや思うが更なる取組が必要。大阪北部地震と豪雨の経験から、各部会で議論するだけでなく全部会を横断的に議論を行い、すべての経営課題で連携した意見を取りまとめ、それを吸い上げることで、よりよい区政となるよう取り組んでいただきたい。
- ・地域の意見は地域に行ってからではないと聞けないように思うので、今後も地域担当の職員が自ら地域に出向いて様々な人達と直接つながりをもつ事が大事と考える。
- ・出た意見をなるべくすくいあげようとする姿勢を感じる。
- ・区政会議等を開催し、意見集約しているため。
- ・住んでよかった、住み続けたいと思うまちづくりのためには、具体的な取り組みがもっともっといと思う。
- ・切れ目のない子育てなど、少しずつまちづくりが進んでいると思えるので。
- ・区役所と委員が意見交換することで、互いの意識が高まり、次の取組みにつながっていくと感じる。
- ・区役所と住民の間にコミュニケーションがとれてないように思う。地域、ボランティア任せではどうかと思う。
- ・行政ができることはやる。できないことはできないと言ってしまうことが自立した地域運営につながる可能性もあると思います。
- ・職員全員？全力？に疑問を感じる。個々での対応が違う。理解を共通させてほしい。
- ・まだ、「区民まつり」の方向性が定まっていないので何とも言えません。37年間大した不満もなく住んでいます。これからも「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」であって欲しいと思います。
- ・区政会議で委員が指摘・答申した内容に対して、傾聴・採択を会議中の発言や計画書で確認出来てきた。また百歳体操の啓発や検診率向上など長期的課題に対しては着実に事業推進がなされている一方で、高齢者ケアの夜間・休日や複合課題、また地域協働の担い手の枯渇など早急かつ抜本的課題についての施策が弱い印象がある。

2. あまり思わない

- ・橋下さんになってから後ろにいました。
- ・異なる思考、思想を持つ人が議論しあえる場がなく、戦術も場当たりのなものにしかない。他自治体の取り組みを参考として試していくことができればよいかと思う。